

# 山形市地域公共交通 利便増進実施計画

令和6年2月

山形市

## 目 次

<b>1. 計画の概要</b> .....	<b>1</b>
(1)策定の目的.....	1
(2)計画の位置づけ.....	1
(3)交通結節点整備に向けた基本的な考え方.....	2
(4)計画の期間及び実施区域.....	3
<b>2. 事業の内容・実施主体</b> .....	<b>4</b>
(1)概要.....	4
(2)利便増進事業、関連して実施する事業及びその他の事業の内容と実施主体.....	6
(3)利便増進事業.....	8
①実施主体.....	8
②実施内容.....	8
③実施予定期間.....	14
④地方公共団体による支援の内容.....	14
⑤事業実施に必要な資金の額・調達方法.....	14
(4)関連事業.....	15
(5)その他の事業.....	17
<b>3. 事業の効果</b> .....	<b>18</b>

# 1 計画の概要

## (1)策定の目的

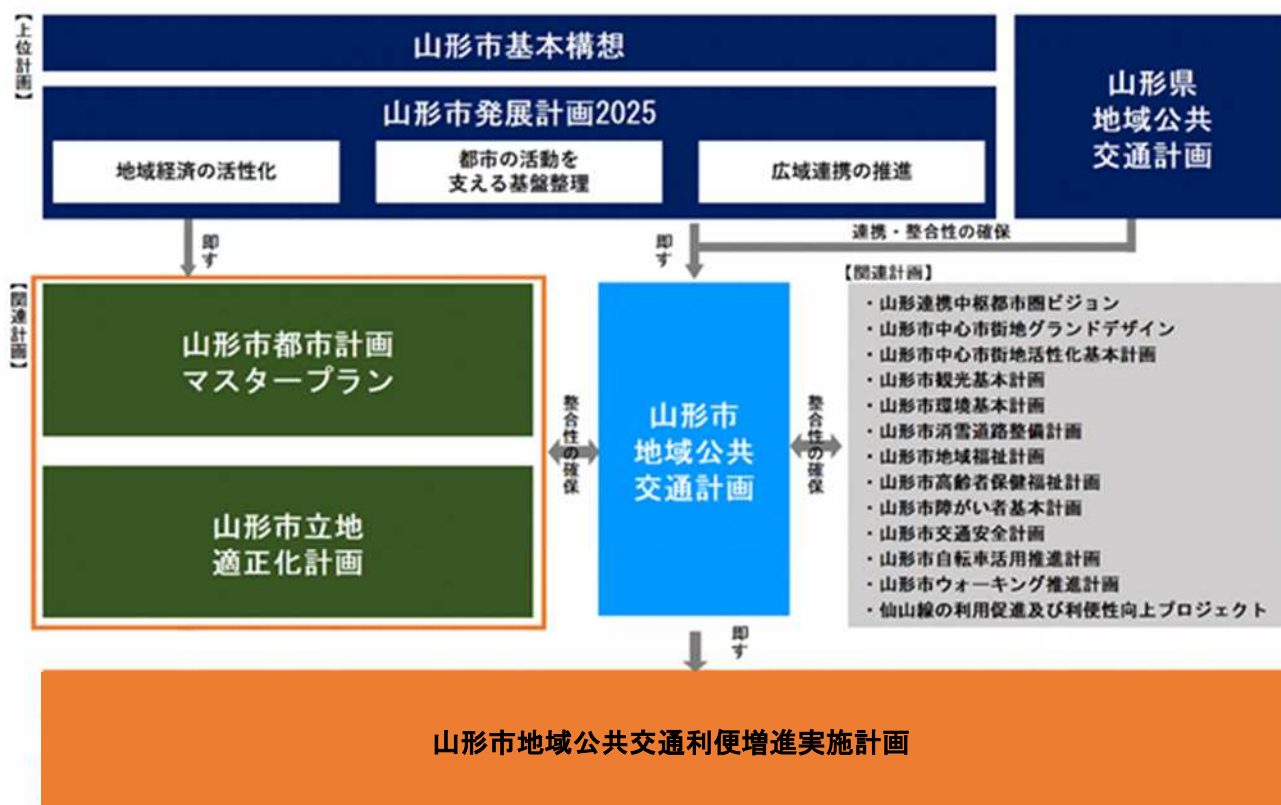
本市では、「山形市地域公共交通計画」において、自家用車に頼らなくても誰もが快適に移動できる環境の実現を目指し、交通軸と交通結節点による公共交通ネットワークの構築を進めている。

山形市地域公共交通計画に基づき、確実な事業の実施と持続可能な地域旅客運送サービスの提供の確保を推進するため、より具体的な取組を示す「山形市地域公共交通利便増進実施計画」を定めるもの。

なお、当該計画には道の駅やまがた蔵王の完成に伴うネットワークの再編や周遊環境整備及び交通結節点における待合環境の改善に向けた整備に係る取組について定める。

## (2)計画の位置づけ

本計画は、山形市地域公共交通計画に即して策定するとともに、関連計画や上位計画と整合を図る。



### (3)交通結節点整備に向けた基本的な考え方

交通結節点の整備にあたっては、「山形市交通結節点整備方針(令和4年6月策定)」に基づき、主要なバス停などのバス待ち環境の改善を短期事業、新駅整備を含む鉄道駅の機能強化や新たな交通結節点整備を中・長期事業に整理し、計画的に取組を展開している。

短期事業として、道の駅やまがた蔵王はオープンに伴い乗換して移動できる環境整備を早急に図る必要がある。また、市役所前バス停、山形駅前バス停及び山交ビルバスターミナルにおいては、複数の路線が通過し、行先が多岐にわたりかつ複数の乗り場があるため、わかりやすい案内を早期に実現する必要がある。これらを利便増進実施計画に位置付け整備を進める。

中・長期事業として、新駅を含む鉄道駅の機能強化については、関連する取組みや関係機関との協議を優先して整理する必要がある。また、新たな交通結節点整備については、バス路線の再編の検討を優先的に行うことや、周辺の都市計画道路等の整備後に、移動の変化やニーズ、現地状況等の確認を踏まえ機能・設備の規模を検討する必要がある。これらを令和5年度策定予定の「山形市総合交通戦略」に位置付けて整備を進める。

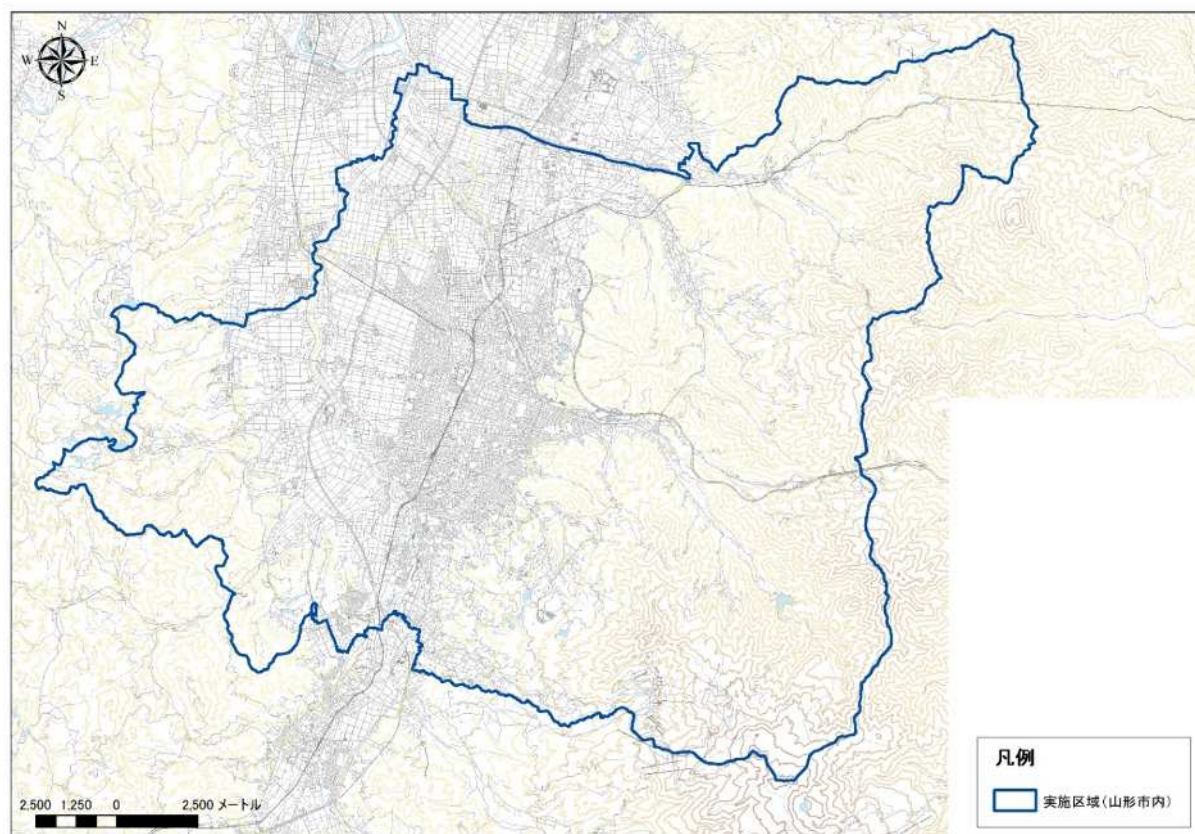
				R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度以降
山形市地域公共交通計画				現計画 R 3～R 7			次期計画(想定) R 8～R 12
【計画期間：R3年度（2021年）～R7年度（2025年）までの5年間】							
事業区分	公共交通計画の具体的施策	主な事業内容	関連計画	R 5 年度	R 6 年度	R 7 年度	R 8 年度以降
(ハ ー ド 整 備)	バス停のバス待ち環境の改善 ・上屋、ベンチ、照明設置 ・時刻表等の案内表示設置 (デジタルサイネージ等)	・市役所前バス停等整備 ・道の駅「やまがた蔵王」バス停整備 ・その他主要なバス停整備 <利便増進事業> →運賃設定又はダイヤ設定等	山形市地域公共交通利便増進実施計画	今回計画 R 5～R 7			次期計画(想定) R 8～R 12
(ハ ー ド 長 期 整 備)	交通結節点の整備 ・「交通結節点整備方針」 ・「交通結節点整備基本構想」 ・整備優先箇所の整備推進	・整備優先箇所の整備 (楯山駅、馬見ヶ崎・嶋エリア、 イオンモール山形南付近) ・鉄道駅の機能強化 (蔵王駅、羽前千歳駅、漆山駅など) ・新駅の整備	山形市総合交通戦略	計画策定	今回計画 R 6～(10年間程度)		

交通結節点の整備の進め方

#### (4)計画の期間及び実施区域

計画の期間及び実施区域は、山形市地域公共交通計画と整合性を図り以下のとおりとする。

- ①計画の期間 令和 5 年度(2023 年度)から令和 7 年度(2025 年度)までの 3 年間
- ②実施区域 山形市内



実施区域

※地図は基盤地図情報（国土地理院）を基に作成

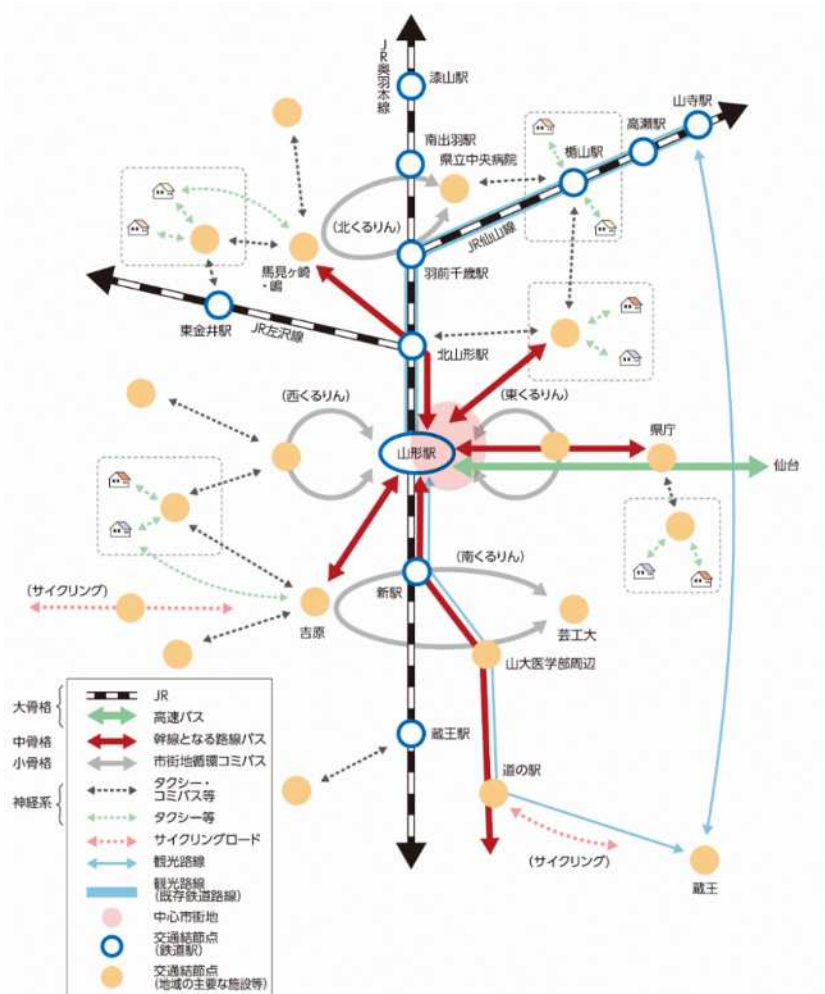
## 2 事業の内容・実施主体

### (1)概要

山形市地域公共交通計画においては、鉄道や路線バス、コミュニティバス等の「交通軸」の整備や、鉄道やバスに加えウォーキングロードやサイクリングロード等の複数の交通手段が交差し、乗り換えの規模や周辺の状況等から重要な拠点となる場所や施設である「交通結節点」の整備により、令和 17 年(2035 年)を見据え公共交通ネットワークを構築することとしている。当該公共交通ネットワークにおいては、令和 5 年 12 月にオープンした道の駅やまがた蔵王を交通結節点と位置づけている。

道の駅やまがた蔵王においては、路線バス及び高速バスが乗り入れる 24 時間出入りが可能な更衣室併設の待合所、パークアンドライド用駐車場及び道路状況・観光情報の情報発信等の交通結節点機能を整備している。道の駅やまがた蔵王へ様々な交通サービスを集約し、乗り換えて移動できる環境の整備に向けて、路線バスの新規乗り入れ、コミュニティサイクルのサイクルポートの設置や高齢者移動支援サービスの目的地の 1 つとすることにより、公共交通ネットワーク構築の推進を図る。

あわせて、中心市街地の交通結節点において、上屋の設置によるバス待ち環境の改善やデジタルサイネー  
ージの設置によるわかりやすいバス案内の改善を図り、交通結節点間の往来を増やし、道の駅やまがた蔵  
王及び中心市街地の賑わい創出につなげる。

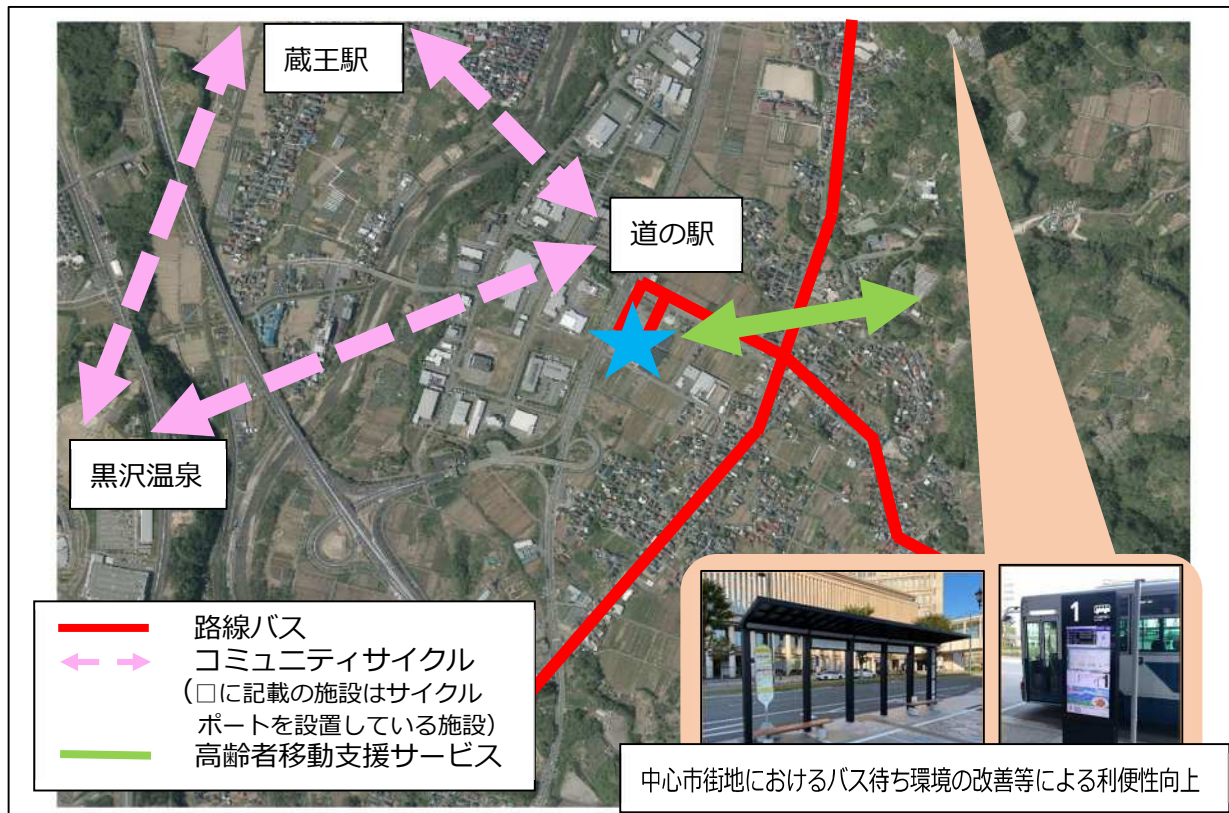


山形市における公共交通ネットワークビジョン





道の駅やまがた蔵王ができる前の公共交通ネットワーク



道の駅やまがた蔵王ができた後の公共交通ネットワーク

## (2) 利便増進事業、関連して実施する事業及びその他の事業の内容と実施主体

「(1)概要」に記載した目的を達成するための施策として、下表の事業を当該計画に位置付ける。

また、当該計画に位置付ける事業を3つの区分に分けて推進する。

区分	内容	実施期間
利便増進事業	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第2条第13号イ又はロに定められている事業	当該計画期間内 (R5～R7)
利便増進事業に関連して実施する事業	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第2条第13号ハに定められている事業(以下「関連事業」という。)	
その他の事業	関係者協議や内容検討段階にある事業	関係者協議及び 内容が整い次第実施

【参考】利便増進事業の内容として含まれる事業(地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第2条第13号イ(1)の例。地域公共交通計画等の作成と運用の手引きより)



### 【利便増進事業一覧】

地域公共交通計画における位置づけ		事業内容	実施主体
施策名	取組名		
施策 1-3 鉄道、バスの利便性向上	バス路線の経路・ダイヤ等の見直し	道の駅やまがた蔵王への路線バスの再編 【対象路線】 ・「特急山形(蔵王温泉)蔵王刈田山頂」 ・「山形(リナワールド・金谷)高松葉山」 ・「山形(金谷)高松葉山」 ・「山形市役所(リナワールド・金谷)高松葉山」 ・「山形市役所(金谷)高松葉山」	山交バス株式会社



【関連事業一覧】

地域公共交通計画に おける位置づけ		事業内容	実施主体
施策名	取組名		
施策 1-3 鉄道、バスの利便性向上	バス停のバス待ち環境の改善	交通結節点における待合環境の改善 ・上屋の整備 ・案内看板の改修 等	山形市 山交バス株式会社
施策 1-5 広域的な移動や観光移動を支える公共交通等の推進	観光客向け周遊環境の向上	山形市コミュニティサイクルのサイクルポートの設置 【サイクルポートの設置場所】 ・道の駅やまがた蔵王	山形市
施策 3-1 郊外地域における新たな公共交通の導入等による生活交通の確保	福祉輸送やその他輸送手段との連携	蔵王地区における高齢者移動支援サービスの実施 ※バスに乗って移動が難しい高齢者等を対象に、地域住民がコーディネーターとなってタクシーの配車を調整し、スーパー等に相乗りしてもらうとともに、住民同士の交流を促進する。	山形市
施策 4-2 便利で楽しい公共交通のPR、公共交通利用に向けた意識醸成	わかりやすいバス案内	交通結節点へのデジタルサイネージの設置	山形市

【その他の事業】

地域公共交通計画に おける位置づけ		事業内容	実施主体
施策名	取組名		
施策 1-3 鉄道、バスの利便性向上	バス路線の経路・ダイヤ等の見直し	市民や観光客の利便性向上に向けた道の駅やまがた蔵王への路線バスの経路変更に係る検討・協議 【対象路線】 ・山形駅～蔵王温泉	山形市 山交バス株式会社

### (3)利便増進事業

道の駅やまがた蔵王への路線バスの新規乗り入れについて、以下のとおり実施する。

#### ① 実施主体

山交バス株式会社

#### ② 実施内容

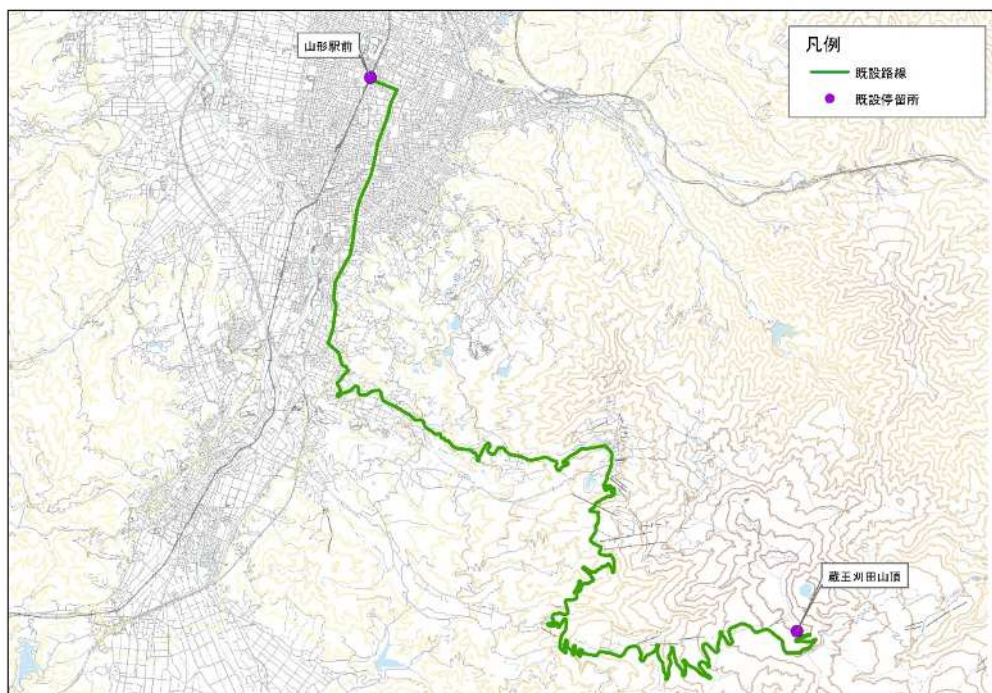
路線名	項目	変更前	変更後
(ア) 特急山形 (蔵王温泉) 蔵王刈田山頂	主な経由地	表蔵王口、 蔵王温泉バスターミナル	表蔵王口、 道の駅やまがた蔵王、 蔵王温泉バスターミナル
	キロ程	45.0 km	46.1 km
	便数	往路 1 便 復路 1 便	
(イ) 山形 (リナワールド・金谷) 高松葉山	主な経由地	山形市役所、 リナワールド、ヨークタウン	山形市役所、 道の駅やまがた蔵王、 リナワールド、ヨークタウン
	キロ程	18.3 km	19.4 km
	便数	平日 往路 5 便 復路 5 便	
(ウ) 山形(金谷) 高松葉山	主な経由地	山形市役所、 茂吉の里金瓶、ヨークタウン	山形市役所、 道の駅やまがた蔵王 茂吉の里金瓶、ヨークタウン
	キロ程	18.2 km	19.3 km
	便数	平日 往路 5 便 復路 5 便	
(エ) 山形市役所 (リナワールド・金谷) 高松葉山	主な経由地	リナワールド ヨークタウン	道の駅やまがた蔵王、 リナワールド、ヨークタウン
	キロ程	16.0 km	17.1 km
	便数	平日 往路 1 便 土日祝 往路 4 便 復路 5 便	
(オ) 山形市役所 (金谷)高松葉山	主な経由地	茂吉の里金瓶、 ヨークタウン	道の駅やまがた蔵王、 茂吉の里金瓶、ヨークタウン
	キロ程	15.9 km	17.0 km
	便数	平日 往路 1 便 土日祝 往路 4 便 復路 5 便	

※(ア)は季節により運行日が異なる

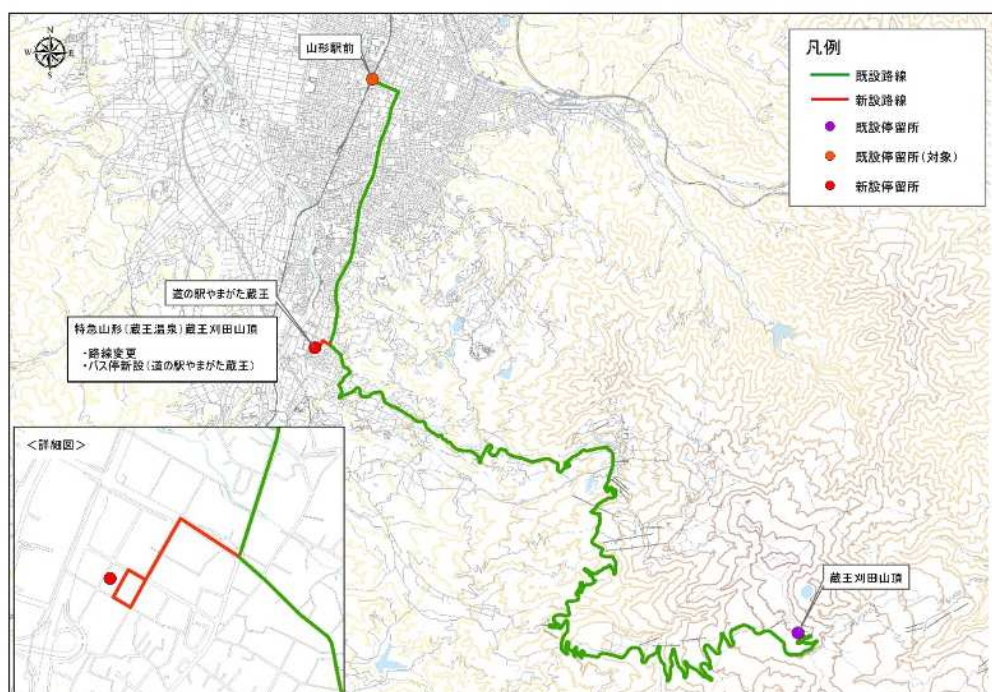
※(イ)、(エ)はリナワールド開園期間中のみ、(ウ)、(オ)はリナワールド閉園期間中のみ運行

<経路図>

(ア) 特急山形(蔵王温泉)蔵王刈田山頂



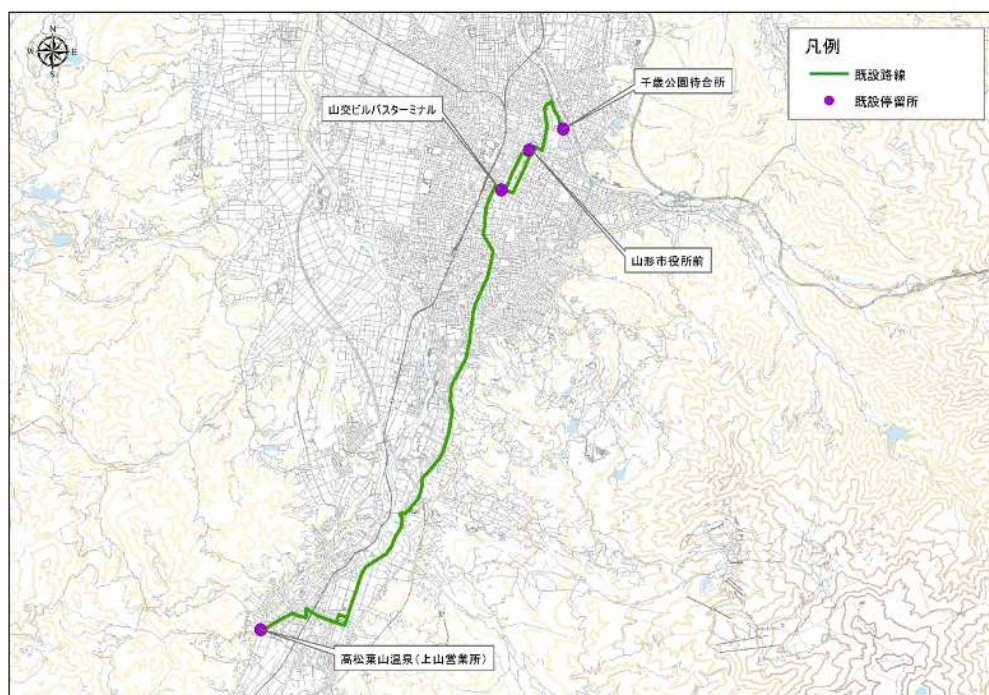
【変更前】



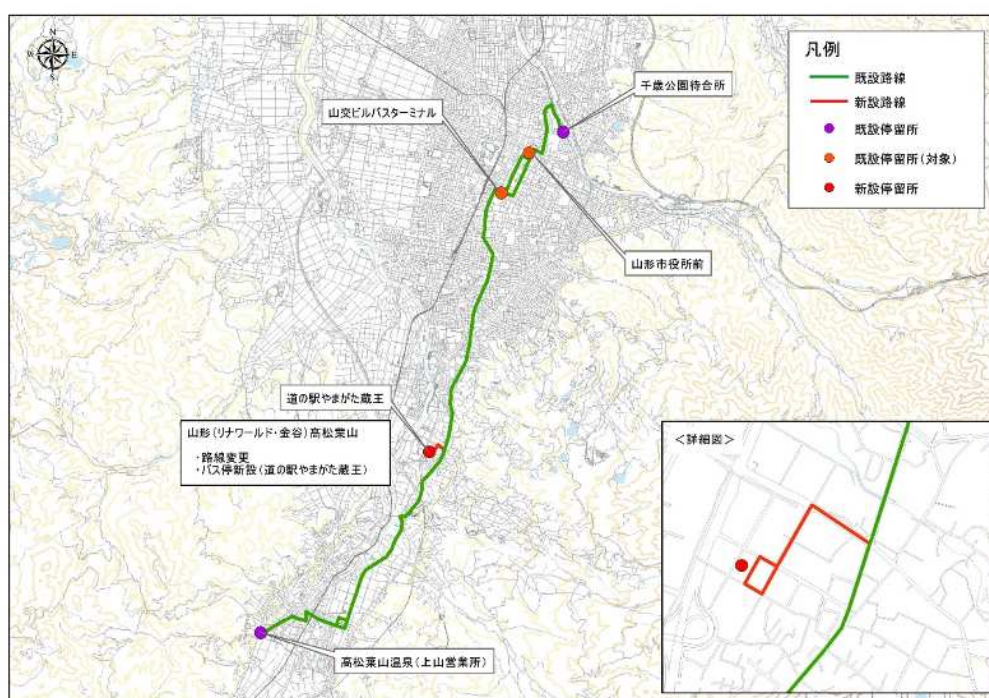
【変更後】



(イ) 山形(リナワールド・金谷)高松葉山



【変更前】



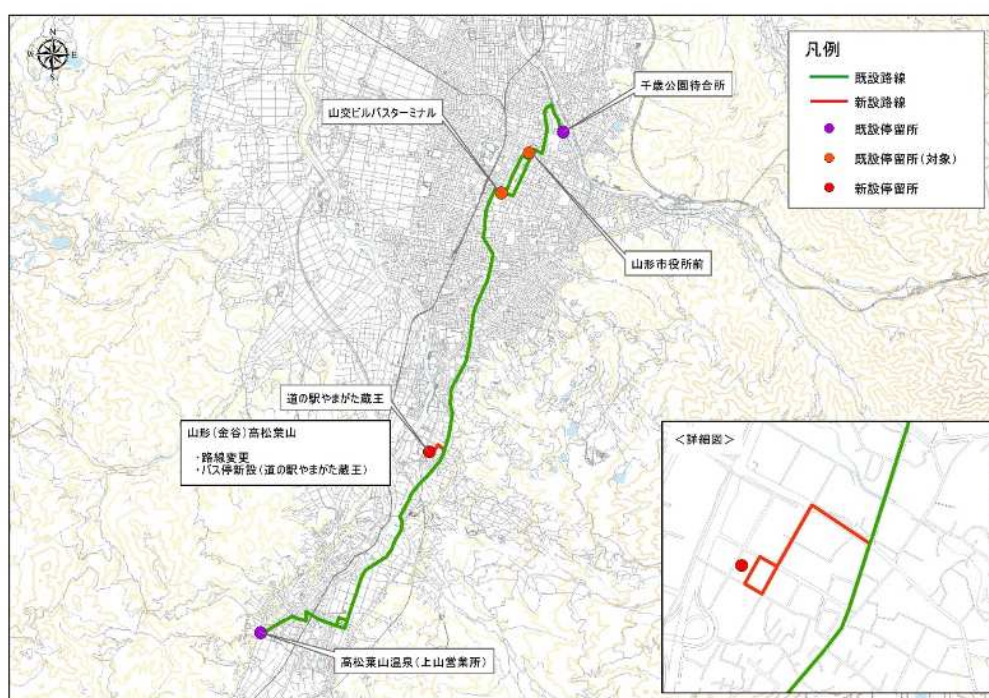
【変更後】



(ウ) 山形(金谷)高松葉山



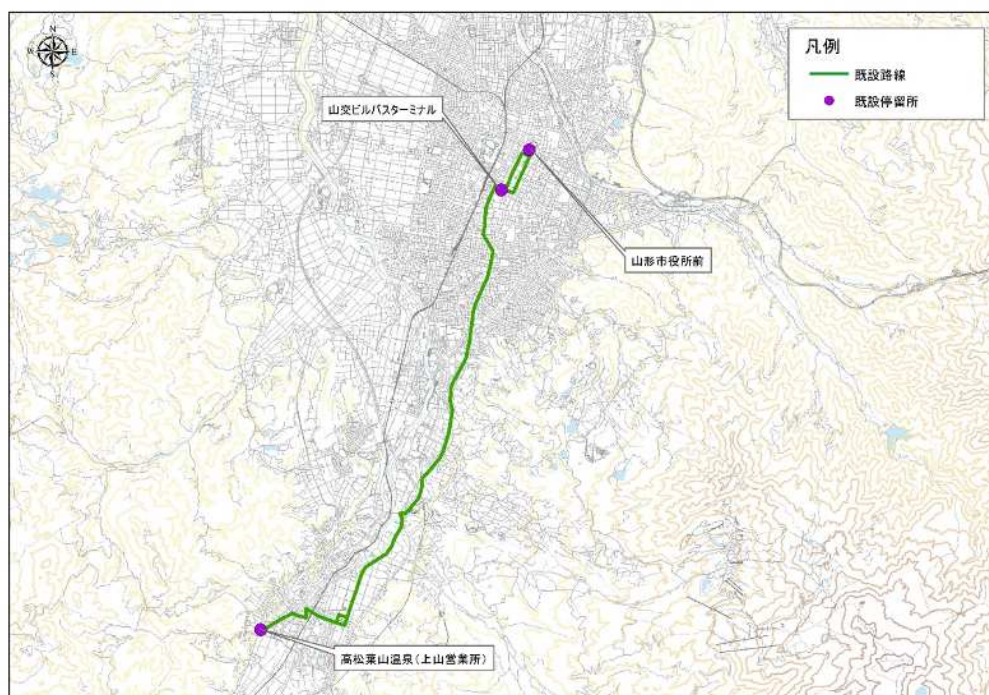
【変更前】



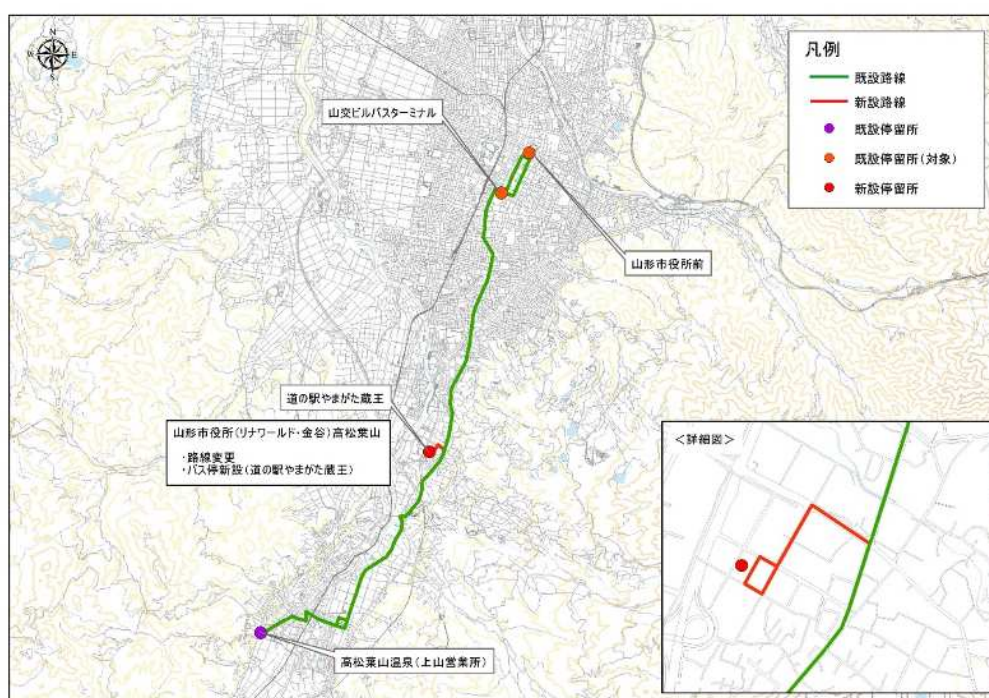
【変更後】



(エ) 山形市役所(リナワールド・金谷)高松葉山



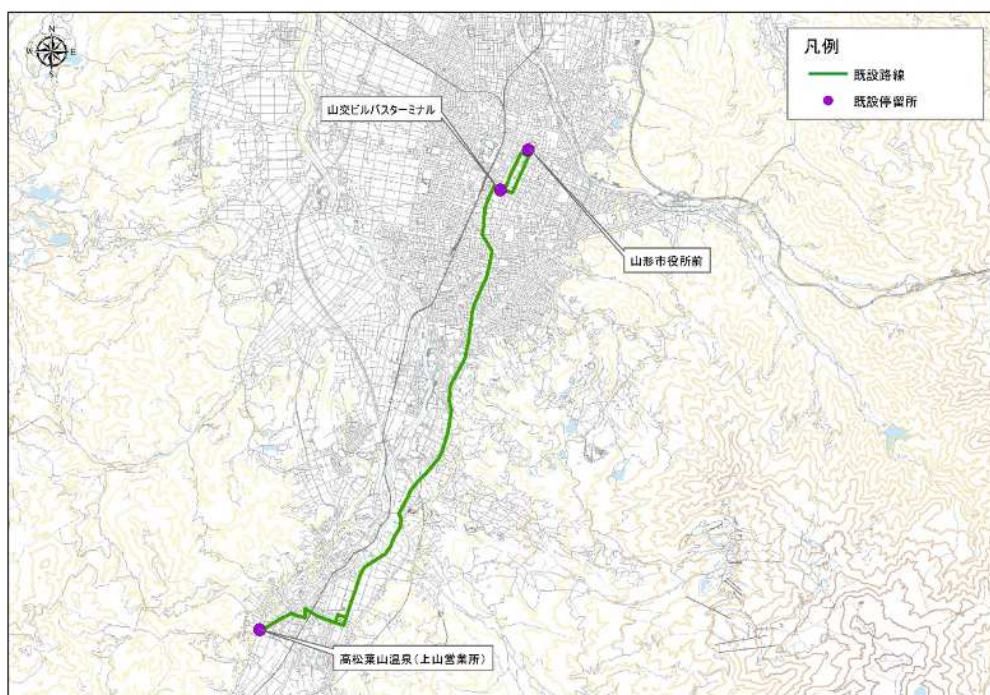
【変更前】



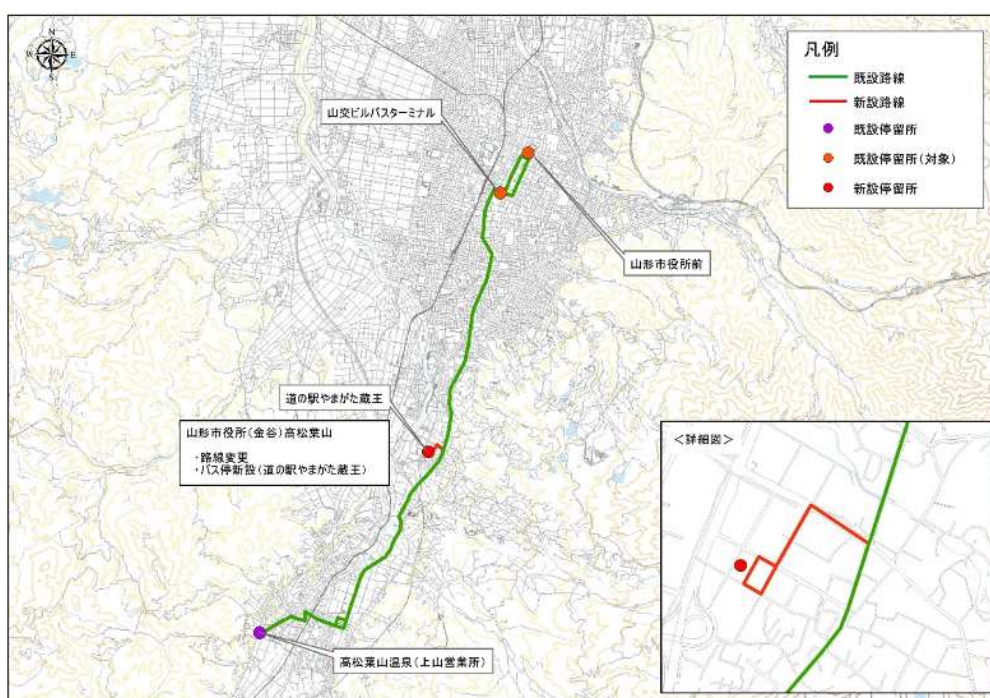
【変更後】



(才) 山形市役所(金谷)高松葉山



【変更前】



【変更後】

※地図は基盤地図情報（国土地理院）を基に作成

### ③ 実施予定期間

実施時期	R5	R6	R7
	関係機関調整	路線の再編	

### ④ 地方公共団体による支援の内容

利便増進事業に対して、本市で支援する内容について以下に示す。

#### (ア) 公共交通利用のきっかけづくり、啓発活動

バスの乗り方教室の企画・実施や、市職員によるノーマイカーデーの実施、シルバー定期券を購入する際の補助等による公共交通利用促進策を実施する。

#### (イ) わかりやすいバス案内

関連事業「交通結節点へのデジタルサイネージ設置」により、乗り場案内、行先表示、時刻表等のわかりやすい案内表示への改善を図る。

#### (ウ) バス待ち環境の改善

関連事業「交通結節点における待合環境の改善」により、快適なバス待ち環境の整備を行う。

### ⑤ 事業実施に必要な資金の額・調達方法

利便増進事業の実施に必要な資金の額及び調達方法について、以下のとおり示す。

対象路線	実施主体	総事業費 (千円／年)	調達方法	実施 年度
(ア) 特急山形(蔵王温泉) 蔵王刈田山頂	山交バス 株式会社	3,593	運賃収入:3,244 実施主体の負担:349	R6～
(イ) 山形(リナワールド・金谷) 高松葉山		11,898	運賃収入:8,360 実施主体の負担:3,538	
(ウ) 山形(金谷)高松葉山		11,898	運賃収入:8,390 実施主体の負担:3,538	
(エ) 山形市役所(リナワールド・金谷)高松葉山		666	運賃収入:492 実施主体の負担:174	
(オ) 山形市役所(金谷) 高松葉山		666	運賃収入:492 実施主体の負担:174	

※(ア):R4.10月～R5.9月の実績をもとに算出

(イ)、(エ):R5年4月運行開始のため、直近6か月の実績をもとに算出

(ウ)、(オ):R5年11月運行開始のため、(イ)、(エ)の実績をもとに算出



#### (4)関連事業

利便増進事業と関連し実施する事業は以下のとおり

##### ①交通結節点における待合環境の改善

事業内容	<p>中心市街地における交通結節点のバス利用状況や周辺環境に配慮しながら、上屋の整備や案内看板の改修等待合環境の改善を図る。</p> <p>【整備場所】 山形市役所前バス乗り場、山交バスターミナル、山形駅</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">(上屋) (案内看板改修)</p> <p style="text-align: center;">整備のイメージ</p>		
実施主体	山形市、山交バス株式会社		
実施時期	R5	R6	R7
	内容の検討・協議・随時実施		



##### ②山形市コミュニティサイクルのサイクルポートの設置

事業内容	<p>道の駅やまがた蔵王へ山形市コミュニティサイクルのサイクルポートを設置し、道の駅やまがた蔵王で様々な交通サービスを乗り換えて移動できる環境の整備を図る。</p> <p>また、利用状況を分析しサイクルポートの再配置を行う等、利用ニーズにあった運用を行う。</p> <p>【整備場所】 道の駅やまがた蔵王</p>		
実施主体	山形市		
実施時期	R5	R6	R7
	サイクルポートの設置	運用	

### ③蔵王地区における高齢者移動支援サービスの実施

事業内容	<p>バスに乗って移動が難しい高齢者等を対象に、地域住民がコーディネーターとなってタクシーの配車を調整し、スーパー等に相乗りしてもらうとともに住民同士の交流を促進するサービスを蔵王地区で実施する。</p> <p>道の駅やまがた蔵王を目的地の一つとすることにより、地域活動のコミュニティ・スペースとして活用することで地域交流の活性化や、様々な交通サービスを使い換えて移動できる環境の整備を図る。</p> <p>【実施地区】蔵王地区</p>		
	山形市		
実施時期	R5	R6	R7
	サービスの実施・継続		

### ④交通結節点へのデジタルサイネージの設置

事業内容	<p>中心市街地の交通結節点及び道の駅やまがた蔵王において、乗り場案内、行先表示、時刻表等の案内表示のわかりやすさに配慮したデジタルサイネージを整備することで、中心市街地及び道の駅やまがた蔵王の交通結節点間の移動を円滑にし、賑わい創出を図る。</p> <p>【整備場所】道の駅やまがた蔵王、山形市役所前バス乗り場、山形駅</p>		
	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">デジタルサイネージの整備のイメージ</p>		
実施主体	山形市		
実施時期	R5	R6	R7
	内容の検討・協議・随時実施		

(5)その他の事業

事業内容	市民や観光客の利便性向上に向けた道の駅やまがた蔵王への路線バスの経路変更に係る検討・協議  【対象路線】 ・山形駅～蔵王温泉		
実施主体	山形市、山交バス株式会社		
実施時期	R5	R6	R7
	協議及び内容が整い次第実施		

### 3 事業の効果

事業の区分	事業内容	定性的な効果	地域公共交通計画の評価指標への影響
利便増進事業	道の駅やまがた蔵王への路線バスの新規乗り入れ	バス・タクシー・コミュニティサイクルの連携により、利便性の高い公共交通ネットワークの構築が図られ、公共交通の利用促進に繋がる。	公共交通の利用者数の増加
関連事業	山形市コミュニティサイクルのサイクルポートの設置	デジタルサイネージ設置によりわかりやすいバスの運行情報や観光情報等の発信を行うことにより、公共交通の利用促進に繋がる。	中心市街地における上屋やベンチの設置などのバス待ち環境の整備件数の増加
	蔵王地区における高齢者移動支援サービスの実施		
	交通結節点へのデジタルサイネージの設置	待合環境の改善により、バス利用者の乗換機能の利便性が向上する。	
	交通結節点における待合環境の改善		

#### 【利便増進計画における評価指標】

山形市地域公共交通計画の目標及び評価指標に基づき、利便増進事業及び関連事業の評価指標を以下のとおり設定する。

定量的な効果	現況値(R5)	目標値(R7)
公共交通の利用者数 (路線バス、山形市コミュニティサイクル、高齢者移動支援サービスの利用者数) <b>【路線バスの対象路線】</b> ・「特急山形(蔵王温泉)蔵王刈田山頂」 ・「山形(リナワールド・金谷)高松葉山」 ・「山形(金谷)高松葉山」 ・「山形市役所(リナワールド・金谷)高松葉山」 ・「山形市役所(金谷)高松葉山」 <b>【山形市コミュニティサイクル】</b> ・道の駅やまがた蔵王のサイクルポートの利用回数 <b>【高齢者移動支援サービス】</b> ・蔵王地区で実施するサービスの利用者数	65 千人	66 千人
交通結節点へのデジタルサイネージの設置枚数 (道の駅やまがた蔵王、山形市役所前バス乗り場、山形駅)	—	10基以上



【参考】山形市地域公共交通計画の目標及び評価指標

利便増進事業及び関連事業を実施することにより、利用者の利便性が向上し、山形市地域公共交通計画に掲げる以下の目標及び成果指標の達成にも寄与する。

目標	目標に対する評価指標	現況値（R1）	目標値（R7）
1.まちづくりと連動した公共交通ネットワークの再編	公共交通の利用者数 （市内主要鉄道駅の利用者数、路線バス、コミュニティバスの利用者数の計）	11,078 千人	11,189 千人
2.徒歩や公共交通などで楽しめる中心市街地の移動環境づくり	中心市街地における上屋やベンチの設置などのバス待ち環境の整備件数（5年間の累計）	—	10件 （2件／年）
3.公共交通による生活実態に即した身近な移動の支援	外出を控えている理由として交通手段がないと答えている高齢者の割合 （市の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（3年に1回実施））	16.1%	11.1% （R5時点）
	公共交通への公的資金投入額 （路線バス赤字補助額、コミュニティバス経費等の計）	79,947 千円	79,147 千円
	公的資金が投入されている公共交通事業の収支率 （路線バス赤字路線、コミュニティバスの収支）	64.2%	65.2%

※目標値設定の考え方については山形市地域公共交通計画を参照